

# 社團 道路改良會定款概要

## 目的

本會ハ汎ク道路改良ニ關スル方策ヲ講究シ道路ノ完備ヲ促進スルヲ以テ目的トスル社團法人トス

## 名稱

本會ハ社團法人道路改良會ト稱ス

## 事務所

本會ハ事務所ヲ東京市ニ置ク必要アルトキハ地方ニ支部ヲ設クルコトヲ得

## 事業

事務所東京市麹町區霞關一丁目二番地内務省内  
本會ハ第一條ノ目的ヲ達スル爲メ左ノ事業ヲ行フ

一、道路改良ニ關シ必要ナル事項ヲ調査研究スルコト  
二、道路改良ニ關シ講演會、講習會、展覽會等ヲ開催スルコト

三、道路改良ニ關シ圖書ヲ刊行頒布スルコト  
四、道路改良ニ關シ當局ノ諮問ニ應ジ又ハ關係當局ニ建議スルコト

五、前各號ノ外本會ノ目的ヲ達スル爲メ必要ナル事業  
本會ノ會員ハ左ノ三種トス

## 會員及會費

一、通常會員

二、特別會員

三、名譽會員

通常會員ハ金貳百圓以上豫出スルモノトス

## 特別會員

特別會員ハ本會ニ功勞アル者又ハ特殊ノ關係アル者ニシテ評議員會ニ於テ推薦スルモノトス但シ内務省土木局長ノ職ニ在ル者ハ特別會員トス

名譽會員ハ特ニ本會ニ功勞アル者ニシテ評議員會ニ於テ推薦スルモノトス

贊助員 毎年金六圓ヲ納ムル者ヲ本會ノ贊助員トス  
役員及顧問 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一、會長  
一、副會長  
一、理事  
一、監事  
一、評議員

一、四名以内  
若 干名  
若 干名  
若 干名

本會ハ評議員會ノ決議ヲ經テ顧問ヲ推薦スルコトヲ得  
評議員ハ會員總會ニ於テ之ヲ互選シ理事及監事ハ評議員會ニ於テ之ヲ互選ス但シ第七條但シ書ニ該當スル特別會員ハ其ノ在職ノ間ハ之ヲ理事トス  
會長、副會長ハ理事中ヨリ之ヲ互選ス

本會設立大正八年三月一日  
社團法人認可大正十年十二月十二日

帝都高速度交通營團法及附屬命令

帝都高速度交通營團法及附屬命令 目次

○帝都高速度交通營團法……………	二
○帝都高速度交通營團法施行期日ノ件……………	九
○帝都高速度交通營團法施行令……………	九
○帝都高速度交通營團法施行規則……………	七
○帝都高速度交通營團法第四十一條ノ規定ニ依ル法人稅及營業稅ノ免除竝ニ 同法第五十二條ノ規定ニ依ル法人稅法ニ依ル所得、營業稅法ニ依ル純益及 臨時利得稅法ニ依ル利益ノ計算ノ特例ニ關スル件……………	八
○住宅營團農地開發營團及帝都高速度交通營團登記取扱手續……………	二〇

帝都高速度交通營團法

(昭和十六年三月六日  
法律第五一號)

第一章 總 則

第一條 帝都高速度交通營團ハ東京市及其ノ附近ニ於ケル

交通機關ノ整備擴充ヲ圖ル爲地下高速度交通事業ヲ營ム

コトヲ目的トスル法人トス

帝都高速度交通營團ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ前項ノ事業

ニ關聯スル事業ヲ營ミ又ハ之ニ投資スルコトヲ得

第二條 帝都高速度交通營團ノ資本金ハ六千萬圓トシ之ヲ

六十萬圓ニ分テ一口ノ出資金額ヲ百圓トス但シ資本金ハ

主務大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ増加スルコトヲ得

第三條 帝都高速度交通營團ノ出資者ハ政府、公共團體、

帝國臣民又ハ帝國法人ニシテ社員、株主若ハ業務ヲ執行

スル役員ノ半數以上、資本ノ半額以上若ハ議決權ノ過半

數ガ外國人若ハ外國法人ニ屬セザルモノタルコトヲ要ス

第四條 帝都高速度交通營團ハ出資ニ對シ勅令ノ定ムル所

ニ依リ出資證券ヲ發行ス

第五條 政府ハ四千萬圓ヲ限り帝都高速度交通營團ニ出資

スルコトヲ得

前項ノ出資ハ帝國鐵道會計ノ資本勘定ノ歲出トシ之ニ因

リ取得シタル出資證券ハ同會計ノ資本所屬物件トス

第六條 政府又ハ公共團體ガ帝都高速度交通營團ニ出資シ

タル場合ニ於テハ其ノ引受ケタル出資ノ出資金拂込ハ其

ノ他ノ出資ノ出資金拂込ト之ヲ異ニスルコトヲ得

第七條 帝都高速度交通營團ノ出資者ノ責任ハ其ノ出資額

ヲ限度トス

出資者ハ帝都高速度交通營團ニ拂込ムベキ出資額ニ付相

殺ヲ以テ之ニ對抗スルコトヲ得ズ

第八條 出資者ハ帝都高速度交通營團ノ承認ヲ經テ其ノ持

分ヲ讓渡スルコトヲ得

第九條 拂込ヲ怠リタル出資者ニ對シ帝都高速度交通營團

ガ一月以上ノ相當ノ期間ヲ定メ拂込ノ請求ヲ爲シタルニ

拘ラス出資者ガ拂込ヲ爲サザルトキハ帝都高速度交通營

團ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ出資者ノ持分ヲ處分スル  
コトヲ得

帝都高速度交通營團ハ持分ノ處分ニ依リテ得タル金額ヨ  
リ滯納金額及定款ヲ以テ定メタル違約金ノ額ヲ控除シタ  
ル金額ヲ從前ノ出資者ニ拂戻スコトヲ要ス

持分ノ處分ニ依リテ得タル金額ガ滯納金額ニ滿タザル場  
合ニ於テハ帝都高速度交通營團ハ從前ノ出資者ニ對シ不  
足額ノ辨濟ヲ請求スルコトヲ得

前三項ノ規定ハ帝都高速度交通營團ガ損害賠償及定款ヲ  
以テ定メタル違約金ノ請求ヲ爲スコトヲ妨グズ

出資者ガ第一項ノ期間内ニ拂込ヲ爲サザルトキハ帝都高  
速度交通營團ハ其ノ出資者ニ對シ二週間内ニ出資證券ヲ  
帝都高速度交通營團ニ提出スベキ旨ヲ通知スルコトヲ要

ス此ノ場合ニ於テ提出ナキ出資證券ハ其ノ效力ヲ失フ  
前項ノ場合ニ於テハ帝都高速度交通營團ハ遲滞ナク失効  
シタル出資證券ノ番號並ニ其ノ出資者ノ氏名及住所ヲ公

告スルコトヲ要ス

第十條 帝都高速度交通營團ハ定款ヲ以テ左ノ事項ヲ規定

スベシ

一 目的

二 名稱

三 事務所ノ所在地

四 資本金額、出資及資産ニ關スル事項

五 役員及會議ニ關スル事項

六 業務及其ノ執行ニ關スル事項

七 交通債券ノ發行ニ關スル事項

八 會計ニ關スル事項

九 公告ノ方法

第十一條 帝都高速度交通營團ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ登

記ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ登記スベキ事項ハ登記ノ後ニ非ザレバ  
之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第十二條 帝都高速度交通營團ニ付解散ヲ必要トスル事由

發生シタル場合ニ於テ其ノ處置ニ關シテハ別ニ法律ヲ以

テ之ヲ定ム

第十三條 帝都高速度交通營團ニ非ザル者ハ帝都高速度交通營團又ハ之ニ類似スル名稱ヲ用フルコトヲ得ズ

第十四條 民法第四十四條、第五十條、第五十一條第一項、第五十四條及第五十七條竝ニ非訟事件手續法第三十五條第一項ノ規定ハ帝都高速度交通營團ニ之ヲ準用ス

第二章 役員

第十五條 帝都高速度交通營團ニ總裁副總裁各一人、理事五人以上及監事三人以上ヲ置ク

第十六條 總裁ハ帝都高速度交通營團ヲ代表シ其ノ業務ヲ

總理ス

副總裁ハ總裁事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ總裁缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

副總裁及理事ハ總裁ヲ輔佐シ定款ノ定ムル所ニ依リ帝都高速度交通營團ノ業務ヲ分掌シ又ハ之ニ參與ス

監事ハ帝都高速度交通營團ノ業務ヲ監査ス

第十七條 總裁、副總裁、理事及監事ハ主務大臣之ヲ命ジ

總裁及副總裁ノ任期ハ五年、理事ノ任期ハ四年、監事ノ任期ハ三年トス

第十八條 總裁、副總裁及業務ヲ分掌スル理事ハ他ノ職業ニ従事スルコトヲ得ズ但シ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十九條 帝都高速度交通營團ニ評議員若干名ヲ置キ主務大臣之ヲ命ズ

評議員ハ事業經營ニ關スル重要事項ニ付總裁ノ諮問ニ應ジ必要アルトキハ之ニ對シ意見ヲ述ブルコトヲ得

評議員ハ名譽職トシ其ノ任期ハ三年トス

第三章 交通債券

第二十條 帝都高速度交通營團ハ拂込資本金額ノ十倍ヲ限リ交通債券ヲ發行スルコトヲ得

第二十一條 交通債券ハ額面金額五十圓以上トシ無記名利札附トス但シ應募者又ハ所有者ノ請求ニ依リ記名式ト爲スコトヲ得

交通債券ハ割引ノ方法ヲ以テ之ヲ發行スルコトヲ得

第二十二條 帝都高速度交通營團ハ交通債券借換ノ爲一時期

第二十條ノ制限ニ依ラズ交通債券ヲ發行スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ交通債券ヲ發行シタルトキハ發行後一

月内ニ其ノ發行額面金額ニ相當スル舊交通債券ヲ償還スベシ

第二十三條 交通債券ハ賣出ノ方法ヲ以テ之ヲ發行スルコトヲ得

トヲ得

第二十四條 帝國鐵道會計ハ豫算ノ範圍内ニ於テ交通債券

ノ引受ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ引受ニ要ス

ル支出ハ同會計ノ資本勘定ノ歳出トシ其ノ引受ケタル交

通債券ハ同會計ノ資本所屬物件トス

第二十五條 帝都高速度交通營團ニ於テ交通債券ヲ發行セ

ントスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第二十六條 政府ハ交通債券ノ元利支拂ヲ保證スルコトヲ

得

前項ノ保證ニ因ル政府ノ支出ハ帝國鐵道會計ノ收益勘定

ノ歳出トス

第二十七條 帝都高速度交通營團ハ地下高速度交通事業又

ハ之ニ關聯スル事業ノ讓受代價ニ付テハ勅令ノ定ムル所

ニ依リ政府ノ支拂保證アル交通債券ヲ以テ之ヲ交付スル

コトヲ得

第二十八條 交通債券ノ消滅時效ハ元金ニ在リテハ十五年

利子ニ在リテハ五年ヲ以テ完成ス

第二十九條 交通債券ノ所有者ハ帝都高速度交通營團ノ財

産ニ付他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受クル權

利ヲ有ス

前項ノ規定ハ民法上ノ一般ノ先取特權ノ行使ヲ妨グルコ

トナシ

第三十條 所得税法及有價證券移轉税法中國債以外ノ公債

ニ關スル規定ハ交通債券ニ之ヲ準用ス

第三十一條 本章ニ規定スルモノノ外交通債券ニ關シ必要

ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

#### 第四章 會計

第三十二條 帝都高速度交通營團ノ事業年度ハ四月ヨリ九

月迄及十月ヨリ翌年三月迄トス

**第三十三條** 帝都高速度交通營團ハ其ノ資本金ノ四分ノ一ニ達スル迄ハ毎事業年度ニ於テ準備金トシテ利益金ノ百分ノ十以上ヲ積立ツベシ

**第三十四條** 帝都高速度交通營團ハ拂込ミタル出資金額ニ對シ勅令ヲ以テ定ムル割合ヲ超エテ利益金ノ配當ヲ爲スコトヲ得ズ

帝都高速度交通營團ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ政府ノ出資ニ對シ利益金ノ配當ヲ減額シ又ハ之ヲ爲サザルコトヲ得

### 第五章 監督及助成

**第三十五條** 帝都高速度交通營團ハ主務大臣之ヲ監督ス

**第三十六條** 定款ノ變更及利益金ノ處分ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

**第三十七條** 主務大臣ハ帝都高速度交通營團ニ對シ監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

主務大臣ハ部下ノ官吏ヲシテ何時ニテモ帝都高速度交通營團ノ金庫、帳簿及諸般ノ文書物件ヲ検査セシムルコト

ヲ得

**第三十八條** 主務大臣ハ帝都高速度交通營團ニ對シ地下高速度鐵道ノ建設又ハ改良ヲ命ズルコトヲ得

**第三十九條** 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ豫算ノ範圍内ニ於テ帝都高速度交通營團ニ補助金ヲ交付スルコトヲ得

**第四十條** 帝都高速度交通營團ハ地下高速度鐵道ノ建設又ハ改良工事施行ノ爲地下埋設物ノ移轉其ノ他ノ工事ノ施行ヲ必要トスル場合ニ在リテハ其ノ工事ノ施行方法又ハ其ノ工事ノ施行ニ因リテ生ズル損失ノ補償ニ付當該管理者ト協議ヲ爲スベシ但シ法令ニ別段ノ規定アル場合ハ其ノ規定ノ適用ヲ妨ゲズ

前項ノ協議ヲ爲スコト能ハザルトキ又ハ協議調ハザルトキハ帝都高速度交通營團ノ申請ニ因リ主務大臣之ヲ裁定ス

前項ノ裁定中損失ノ補償ニ付不服アル者ハ協議ノ相手方ヲ被告トシ裁定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三月内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得



前項ノ訴訟ハ裁定ノ效力ヲ停止セズ

**第四十一條** 帝都高速度交通營團ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法施行ノ年及其ノ翌年ヨリ十年間本法施行後新設又ハ増設シタル設備ヲ以テ營ム地下高速度鐵道事業ニ付所得ニ對スル法人稅及營業稅ヲ免除ス

前項ノ事業ヨリ生ズル所得又ハ純益ガ各事業年度ノ資本金額ニ對シ年百分ノ十ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ニ相當スル所得又ハ純益ニ付テハ前項ノ規定ヲ適用セズ但シ本法施行ノ年及其ノ翌年ヨリ三年間ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ資本金額ノ計算方法ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

**第四十二條** 役員ガ法令、定款若ハ主務大臣ノ命令ニ違反シ又ハ公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタルトキハ主務大臣ハ之ヲ解任スルコトヲ得

## 第六章 罰 則

**第四十三條** 帝都高速度交通營團本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ總

裁又ハ總裁ノ職務ヲ行ヒ若ハ代理スル副總裁ヲ五千圓以下ノ過料ニ處ス副總裁又ハ理事ノ分掌業務ニ係ルトキハ副總裁又ハ理事ヲ過料ニ處スルコト亦同ジ

**第四十四條** 帝都高速度交通營團ノ總裁、副總裁又ハ業務ヲ分掌スル理事第十八條ノ規定ニ違反シ他ノ職業ニ從事シタルトキハ千圓以下ノ過料ニ處ス

**第四十五條** 第十三條ノ規定ニ違反シ帝都高速度交通營團又ハ之ニ類似スル名稱ヲ用ヒタル者ハ千圓以下ノ過料ニ處ス

## 附 則

**第四十六條** 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

**第四十七條** 主務大臣ハ設立委員ヲ命ジ帝都高速度交通營團ノ設立ニ關スル事務ヲ處理セシム

**第四十八條** 設立委員ハ定款ヲ作成シ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

前項ノ認可アリタルトキハ設立委員ハ出資者ヲ募集スベシ

**第四十九條** 設立委員ハ出資者ノ募集ヲ終リタルトキハ出

資申込書ヲ主務大臣ニ提出シ設立ノ認可ヲ申請スベシ

前項ノ認可ヲ受ケタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク出資第

一回ノ拂込ヲ爲サシムルコトヲ要ス

**第五十條** 出資第一回ノ拂込完了シタルトキハ出資者ノ總

會ヲ招集スベシ

前項ノ總會終結シタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク其ノ事

務ヲ帝都高速度交通營團總裁ニ引渡スベシ

總裁前項ノ事務ノ引渡ヲ受ケタルトキハ總裁、副總裁、

理事及監事ノ全員ハ事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ

爲スベシ帝都高速度交通營團ハ設立ノ登記ヲ爲スニ因リ

テ成立ス

**第五十一條** 本法ニ規定スルモノノ外帝都高速度交通營團

ノ設立ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

**第五十二條** 陸上交通事業ヲ營ム會社ガ陸上交通事業調整

法第二條ノ命令ニ依リ帝都高速度交通營團ニ事業ノ讓渡

ヲ爲シタルトキハ其ノ讓渡ニ因リ取得シタル交通債券ノ

價格ニ關シ讓渡ヲ爲シタル事業年度ニ於ケル法人税法ニ

依ル所得、營業税法ニ依ル純益及臨時利得税法ニ依ル利

益ノ計算ニ付命令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

**第五十三條** 帝都高速度交通營團ニ事業ノ讓渡ヲ爲シテ解

散シタル會社ハ命令ノ定ムル所ニ依リ時價ヲ以テ交通債

券ヲ殘餘財産ノ分配金ニ充ツルコトヲ得

**第五十四條** 帝都高速度交通營團ハ陸上交通事業調整法第

二條ノ命令ニ基キ鐵道財團ニ屬スルモノノ全部ヲ讓受ケ

タルトキハ該鐵道財團及之ヲ擔保トスル借入金又ハ社債

ノ元利支拂義務ヲ承繼ス

前項ノ場合ニ於テ帝都高速度交通營團ニ屬シタル鐵道財

團ハ從前ト同一ノ態樣ニ於テ前項ノ元利支拂義務ヲ擔保

ス

第一項ノ規定ニ依リ社債ノ元利支拂義務ノ承繼アリタル

場合ニ於テ其ノ債務ニ付テハ社債ニ關スル法令ヲ準用ス

前三項ニ規定スルモノノ外第一項ノ鐵道財團及債務ノ承

繼ノ場合ニ於テ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十五條 登錄稅法中第六條ノ三ヲ第六條ノ四トシ第六

條ノ二ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第六條ノ三 帝都高速度交通營團ガ交通債券ニ付登記ヲ

受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登錄稅ヲ納ムベシ

一 交通債券ノ拂込

拂込金額 千分ノ二

二 登記事項ノ變更、消滅又ハ廢止

每一件 金十圓

第五十六條 登錄稅法第十九條第七號中「庶民金庫、」ノ下

ニ「帝都高速度交通營團、」ヲ、「庶民金庫法、」ノ下ニ

「帝都高速度交通營團法、」ヲ加フ

第五十七條 印紙稅法第五條中第六號ノ二ノ次ニ左ノ一號

ヲ加フ

六ノ三 帝都高速度交通營團ノ發スル出資證券

帝都高速度交通營團法施行期日ノ件

(昭和十六年四月二十四日  
勅令第四九六號)

帝都高速度交通營團法ハ昭和十六年五月一日ヨリ之ヲ施行  
ス

帝都高速度交通營團法施行令

(昭和十六年四月二十四日  
勅令第四九七號)

第一章 出資證券

第一條 帝都高速度交通營團ノ出資證券ニハ左ノ事項及番

號ヲ記載シ總裁之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

一 帝都高速度交通營團ノ名稱

二 帝都高速度交通營團成立ノ年月日

三 資本金額

四 出資一口ノ金額

五 出資一口ニ付拂込ミタル金額

第二回以後ノ出資拂込ヲ爲サシメタルトキハ拂込アル毎

ニ其ノ金額ヲ出資證券ニ記載スルコトヲ要ス

第二條 出資證券ハ記名式トス

第三條 出資者ノ持分ノ移轉ハ取得者ノ氏名及住所ヲ出資

者原簿ニ記載シ且其ノ氏名ヲ出資證券ニ記載スルニ非ザレバ之ヲ以テ帝都高速度交通營團其ノ他ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第四條 帝都高速度交通營團ハ出資者原簿ヲ事務所ニ備置クコトヲ要ス

前項ノ原簿ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 出資者ノ氏名及住所
- 二 各出資者ノ出資口數及出資證券ノ番號
- 三 出資各口ニ付拂込ミタル金額及拂込ノ年月日
- 四 各出資證券ノ取得ノ年月日

帝都高速度交通營團ノ出資者及債權者ハ業務時間内何時ニテモ出資者原簿ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得

第五條 出資者ニ對スル通知又ハ催告ハ出資者原簿ニ記載シタル其ノ者ノ住所ニ、其ノ者ガ別ニ其ノ住所ヲ帝都高速度交通營團ニ通知シタルトキハ其ノ住所ニ宛ツルヲ以テ足ル

前項ノ通知又ハ催告ハ通常其ノ到達スベカリシ時ニ到達

シタルモノト看做ス

前二項ノ規定ハ出資申込人、出資引受人又ハ從前ノ出資者ニ對スル通知及催告ニ之ヲ準用ス

## 第二章 交通債券

第六條 交通債券ノ募集ニ應ゼントスル者ハ交通債券申込

證ニ通ニ其ノ引受クベキ交通債券ノ數及住所ヲ記載シ之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

交通債券申込證ハ總裁之ヲ作成シ之ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 帝都高速度交通營團ノ名稱
- 二 交通債券ノ總額
- 三 各交通債券ノ金額
- 四 交通債券ノ利率
- 五 交通債券償還ノ方法及期限
- 六 利息支拂ノ方法及期限
- 七 交通債券發行ノ價額又ハ其ノ最低價額
- 八 帝都高速度交通營團ノ資本金額及拂込資本金額

九 舊交通債券借換ノ爲帝都高速度交通營團法第二十條

ノ制限ニ依ラズ交通債券ヲ發行スルトキハ其ノ旨

十 前ニ交通債券ヲ發行シタルトキハ其ノ償還ヲ了ヘザ

ル總額

交通債券發行ノ最低價額ヲ定メタル場合ニ於テハ應募者

ハ交通債券申込證ニ應募價額ヲ記載スルコトヲ要ス

第七條 前條ノ規定ハ契約ニ依リ交通債券ノ總額ヲ引受ク

ル場合ニハ之ヲ適用セズ國ニ於テ交通債券ヲ引受クル場

合ニ於テ其ノ引受クル部分及交通債券募集ノ委託ヲ受ケ

タル會社ガ自ラ交通債券ノ一部ヲ引受クル場合ニ於テ其

ノ一部ニ付亦同ジ

第八條 交通債券ノ應募總額ガ交通債券申込證ニ記載シタ

ル交通債券ノ總額ニ達セザルトキト雖モ交通債券ヲ成立

セシムル旨ヲ交通債券申込證ニ記載シタルトキハ其ノ應

募總額ヲ以テ交通債券ノ總額トス

第九條 交通債券ノ募集ガ完了シタルトキハ總裁ハ遲滯ナ

ク各交通債券ニ付其ノ全額ノ拂込ヲ爲サシムルコトヲ要

ス

第十條 交通債券募集ノ委託ヲ受ケタル會社ハ自己ノ名ヲ

以テ帝都高速度交通營團ノ爲ニ第六條第二項及前條ニ定

ムル行爲ヲ爲スコトヲ得

交通債券募集ノ委託ヲ受ケタル會社ニ以上アルトキハ前

項ノ行爲ハ共同シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第十一條 賣出ノ方法ニ依リ交通債券ヲ發行セントスルト

キハ總裁ハ左ノ事項ヲ公告スルコトヲ要ス

一 賣出期間

二 交通債券賣出ノ價額

三 第六條第二項第一號乃至第六號及第八號乃至第十號

ニ掲グル事項

四 第十二條ニ規定スル事項

第十二條 賣出期間内ニ賣上ゲタル交通債券ノ總額ガ前條

ノ規定ニ依リ公告シタル交通債券ノ總額ニ達セザルトキ

ハ其ノ賣上總額ヲ以テ交通債券ノ總額トス

第十三條 交通債券ハ全額ノ拂込アリタル後ニ非ザレバ之

ガ證券ノ發行ヲ爲スコトヲ得ズ

**第十四條** 交通債券ニハ第六條第二項第一號乃至第六號ニ掲グル事項及證券番號ヲ記載シ總裁之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

賣出ノ方法ニ依リ發行スル交通債券ニハ第六條第二項第

二號ニ掲グル事項ヲ記載スルコトヲ要セズ

**第十五條** 帝都高速度交通營團ハ事務所ニ交通債券原簿ヲ備置クコトヲ要ス

交通債券原簿ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 交通債券ノ數及番號

二 證券發行ノ年月日

三 第六條第二項第二號乃至第六號ニ掲グル事項

交通債券ヲ記名式ト爲シタルトキハ前項ニ掲グル事項ノ外其ノ交通債券ノ所有者ノ氏名及住所竝ニ取得ノ年月日ヲ交通債券原簿ニ記載スルコトヲ要ス

帝都高速度交通營團ノ出資者及債權者ハ業務時間内何時ニテモ交通債券原簿ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得

**第十六條** 記名式交通債券ノ移轉ハ取得者ノ氏名及住所ヲ

交通債券原簿ニ記載シ且其ノ氏名ヲ證券ニ記載スルニ非ザレバ之ヲ以テ帝都高速度交通營團其ノ他ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

記名式交通債券ヲ以テ質權ノ目的ト爲シタルトキハ質權者ノ氏名及住所ヲ交通債券原簿ニ記載スルニ非ザレバ之ヲ以テ帝都高速度交通營團其ノ他ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

**第十七條** 第五條第一項及第二項ノ規定ハ交通債券ノ應募者、權利者又ハ所有者ニ對スル通知又ハ催告ニ之ヲ準用ス

無記名式交通債券ノ所有者ニ對スル通知又ハ催告ハ公告ノ方法ニ依ルコトヲ得

**第十八條** 無記名式交通債券ヲ償還スル場合ニ於テ欠缺セル利札アルトキハ之ニ相當スル金額ヲ償還額ヨリ控除ス但シ既ニ支拂期ノ到來シタル利札ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ利札ノ所持人ハ何時ニテモ之ト引換ニ捺除金額ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

### 第十九條 帝都高速度交通營團ガ帝都高速度交通營團法第

二十七條ノ規定ニ依リ地下高速度交通事業又ハ之ニ關聯スル事業ノ讓受代價ニ付交通債券ヲ交付セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シテ鐵道大臣及內務大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

### 第二十條 帝都高速度交通營團法第二十七條ノ規定ニ依リ

交付スル交通債券ノ價額ハ類似ノ證券ノ相場ヲ參酌シ鐵道大臣、內務大臣及大藏大臣之ヲ定ム

### 第三章 登記

### 第二十一條 帝都高速度交通營團ノ設立ノ登記ハ出資者總

會終結ノ日ヨリ二週間内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

設立ノ登記ニハ左ノ專項ヲ掲グルコトヲ要ス

#### 一 目的

#### 二 名稱

#### 三 事務所

#### 四 資本金額

#### 五 出資一口ノ金額

#### 六 出資一口ニ付拂込ミタル金額

#### 七 總裁、副總裁、理事及監事ノ氏名及住所

#### 八 公告ノ方法

### 第二十二條 帝都高速度交通營團ガ事務所ヲ移轉シタルト

キハ二週間内ニ移轉ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

### 第二十三條 第二十一條第二項ニ掲グル專項中ニ變更ヲ生

ジタルトキハ二週間内ニ變更ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

### 第二十四條 交通債券ヲ發行シタル場合ニ於テ第九條ノ拂

込アリタルトキ又ハ第十一條ノ賣出期間満了シタルトキ

ハ二週間内ニ交通債券ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ登記ニハ第六條第二項第二號乃至第六號ニ掲グル

專項ヲ登記スルコトヲ要ス

### 第二十五條 帝都高速度交通營團法第二十七條ノ規定ニ依

ル交通債券ヲ發行シタルトキハ發行ノ日ヨリ二週間内ニ

第六條第二項第二號乃至第六號ニ掲グル專項ヲ登記スル

コトヲ要ス

第二十六條 帝都高速度交通營團が帝都高速度交通營團法

第五十四條第一項ノ規定ニ依リ社債ノ元利支拂義務ヲ承

繼シタルトキハ承繼ノ日ヨリ二週間内ニ擔保附社債信託

法第三十四條第一項ノ規定ニ準ジ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第二十七條 第二十三條ノ規定ハ前三條ノ登記ニ之ヲ準用

ス

第二十八條 登記スベキ事項ニシテ主務大臣ノ認可ヲ要ス

ルモノハ其ノ認可書ノ到達シタル時ヨリ登記ノ期間ヲ起

算ス

第二十九條 登記シタル事項ハ裁判所ニ於テ遲滞ナク之ヲ

公告スルコトヲ要ス

第三十條 帝都高速度交通營團ノ登記ニ付テハ其ノ事務所

所在地ノ區裁判所ヲ以テ管轄登記所トス

登記所ニ帝都高速度交通營團登記簿ヲ備フ

第三十一條 設立ノ登記ヲ除クノ外本令ニ依ル登記ハ總裁

ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第三十二條 設立登記ノ申請書ニハ定款、出資者總會ノ議

事録、出資申込書其ノ他出資ノ引受ヲ證スル書面、出資

ノ第一回ノ拂込アリタルコトヲ證スル書面並ニ總裁、副

總裁、理事及監事ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ

要ス

事務所ノ移轉其ノ他第二十一條第二項ニ掲グル事項ノ變

更ノ登記ノ申請書ニハ事務所ノ新設又ハ登記事項ノ變更

ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第三十三條 交通債券ノ登記ノ申請書ニハ交通債券申込證

其ノ他交通債券ノ引受ヲ證スル書面及各交通債券ニ付第

九條ノ拂込アリタルコトヲ證スル書面又ハ賣出期間内ニ

於テ賣上ゲタル交通債券ノ總額ヲ證スル書面ヲ添附スル

コトヲ要ス

第二十五條ノ規定ニ依ル登記ノ申請書ニハ前項ニ掲グル

書類ニ代ヘ當該交通債券ノ總額ヲ證スル書面ヲ添附スル

コトヲ要ス

第三十四條 第二十六條ノ規定ニ依ル登記ノ申請書ニハ社



債ノ元利支拂義務ヲ承繼シタル旨ヲ記載シ陸上交通事業調整法第二條ノ命令ニ基キ鐵道財團ニ屬スルモノノ全部ヲ讓受ケタルコトヲ證スル書面及鐵道財團ニ屬スルモノノ全部ヲ讓渡シタル會社ノ社債ニ關スル登記簿ノ抄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第三十二條第二項ノ規定ハ交通債券ニ關スル登記事項ノ變更ノ登記及第二十六條ノ規定ニ依リ登記シタル事項ノ變更ノ登記ニ之ヲ準用ス

第三十五條 非訟事件手續法第四百十二條乃至第五百十一條ノ六及第五百十四條乃至第五百十七條ノ規定ハ本令ニ依ル登記ニ之ヲ準用ス

#### 第四章 會 計

第三十六條 帝都高速度交通營團ノ利益金ノ配當ハ拂込ミタル出資金額ニ對シ年百分ノ六ヲ超ユルコトヲ得ズ

#### 第五章 雜 則

第三十七條 帝都高速度交通營團ガ陸上交通事業調整法第一二條ノ命令ニ基キ鐵道財團ニ屬スルモノノ全部ヲ讓受ケ

タルトキハ帝都高速度交通營團及讓渡人ハ抵當權者ニ對シ帝都高速度交通營團法第五十四條ノ規定ニ依リ該鐵道財團及之ヲ擔保トスル借入金又ハ社債ノ元利支拂義務ノ承繼アリタル旨並ニ承繼ノ日ヲ通知スルコトヲ要ス

第三十八條 帝都高速度交通營團ガ承繼シタル鐵道財團及之ヲ目的トスル抵當權ニ付テハ鐵道抵當法ヲ準用ス

第三十九條 帝都高速度交通營團法第五十四條第一項ノ規定ニ依リ社債ノ元利支拂義務ノ承繼アリタル場合ニ於テ鐵道財團ニ屬スルモノノ外擔保タル不動産アルトキハ該不動産ハ從前ト同一ノ態様ニ於テ該社債ノ元利支拂義務ヲ擔保ス

第四十條 帝都高速度交通營團法第五十四條第一項ノ規定ニ依リ社債ノ元利支拂義務ノ承繼アリタル場合ニ於テハ從前ノ社債券ハ帝都高速度交通營團ニ對スル該債權ヲ表示スルモノトス

前項ノ場合ニ於テハ擔保附社債信託法ニ依ル從前ノ社債ノ委託會社ハ從前ノ社債原簿又ハ其ノ謄本ニ就キ帝都高

速度交通營團ノ承繼シタル債務ニ關スル債權者原簿ヲ作成シ之ヲ帝都高速度交通營團ニ交付スルコトヲ要ス

前項ノ出資申込書ハ設立委員之ヲ作成シ之ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第一項ノ場合ニ於テハ帝都高速度交通營團法第五十四條

一 帝都高速度交通營團ノ名稱

第二項ニ規定スル抵當權及前條ニ規定スル抵當權ニ關シ

二 目的

帝都高速度交通營團ト從前ノ社債ノ受託會社トノ間ニ從

三 定款認可ノ年月日

前ト同一ノ態様ニ於テ信託關係存續スルモノトス

四 事務所ノ所在地

第四十一條 前條第一項ノ證券及同條第二項ノ債權者原簿

五 資本金額

竝ニ承繼債務ニ關スル權利ノ實行ニ付テハ擔保附社債信

六 出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法

託法ヲ準用ス

七 公告ノ方法

第四十二條 帝都高速度交通營團法中主務大臣トアルハ鐵

前二項ノ規定ハ政府ノ出資申込ニ付テハ之ヲ適用セズ

道大臣及内務大臣トス

第四十五條 出資ノ申込ニ對スル割當ニ付テハ設立委員ハ

附 則

鐵道大臣及内務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第四十三條 本令ハ帝都高速度交通營團法施行ノ日ヨリ之

前項ノ認可申請書ニハ出資申込書ヲ添附スルコトヲ要ス

ヲ施行ス

第四十六條 出資ノ引受ヲ爲シタル者ガ出資ノ第一回ノ拂

第四十四條 帝都高速度交通營團ニ出資ノ申込ヲ爲サント

込ヲ爲サザルトキハ設立委員ハ一定ノ期間内ニ其ノ拂込

スル者ハ出資申込書三通ニ其ノ引受クベキ口數及住所ヲ

ラ爲スベキ旨及其ノ期間内ニ之ヲ爲サザルトキハ其ノ權

記載シ之ニ記名捺印シ設立委員ニ提出スルコトヲ要ス

利ヲ失フベキ旨ヲ出資ノ引受ヲ爲シタル者ニ通知スルコ

トヲ得但シ其ノ期間ハ二週間ヲ下ルコトヲ得ズ

前項ノ通知アリタルニ拘ラズ出資ノ引受ヲ爲シタル者ガ其ノ期間内ニ拂込ヲ爲サザルトキハ其ノ權利ヲ失フ此ノ場合ニ於テハ設立委員ハ其ノ者ガ引受ケタル出資ニ付更

ニ出資者ヲ募集スベシ

**第四十七條** 出資ノ第一回ノ拂込アリタルトキハ設立委員

ハ遲滯ナク各出資者ノ出資口數、拂込ミタル金額及其ノ拂込ノ年月日ヲ記載シタル書面竝ニ之ニ關スル證憑書類ヲ提出シ鐵道大臣及內務大臣ノ検査ヲ受クベシ

**第四十八條** 前條ノ検査ヲ終リタルトキハ設立委員ハ遲滯

ナク出資者ノ總會ヲ召集シ帝都高速度交通營團ノ設立ニ關スル事項ヲ報告スベシ

**第四十九條** 總會ヲ召集スルニハ少クトモ一週間前ニ會議

ノ目的タル事項、日時及場所ヲ各出資者ニ通知スルコトヲ要ス

**第五十條** 總會終結シタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク其ノ

旨ヲ鐵道大臣及內務大臣ニ届出ヅベシ

**第五十一條** 帝都高速度交通營團總裁設立委員ヨリ其ノ事

務ノ引渡ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ鐵道大臣及內務大臣ニ届出ヅベシ

**帝都高速度交通營團法施行規則**

(昭和十六年五月二十七日)  
鐵道、內務省令第三號

**第一條** 帝都高速度交通營團法第五十三條ニ規定スル交通

債券ノ時價ハ帝都高速度交通營團ニ事業ノ讓渡ヲ爲シテ解散シタル會社ニ對シ當該事業讓渡ノ許可又ハ陸上交通事業調整法第三條ノ規定ニ依ル認可若ハ裁定アリタル日ヨリ遡リ三月間ニ於ケル同一種類ノ交通債券ノ取引ノ平均相場ヲ標準トシ三月間ニ於ケル平均相場ナキモ之ヨリ短キ期間ニ於ケル平均相場アルトキハ其ノ平均相場ヲ標準トシ其ノ孰ノ平均相場モナキトキハ其ノ發行價額ヲ標準トシテ鐵道大臣及內務大臣之ヲ定ム

**第二條** 帝都高速度交通營團法第五十四條ニ規定スル抵當ノ取扱ニ付テハ鐵道抵當法施行規則ヲ準用ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

帝都高速度交通營團法第四十一條ノ規定ニ依ル法人稅及營業稅ノ免除竝ニ同法第五十二條ノ規定ニ依ル法人稅法ニ依ル所得、營業稅法ニ依ル純益及臨時利得稅法ニ依ル利益ノ計算ノ特例ニ關スル件

(昭和十六年六月五日  
大藏省令第三〇號)

第一條 帝都高速度交通營團法第四十一條第二項ノ各事業

年度ノ資本金額ハ各月末ニ於ケル拂込濟出資金額及積立

金額ノ月割平均額ニ總資産價額ニ對スル同法施行後新設

又ハ増設シタル設備ヲ以テ營ム地下高速度鐵道事業ヨリ

生ズル所得又ハ純益ノ基本タル資産價額ノ割合ヲ乘ジ之

ヲ計算ス

前項ノ場合ニ於テ資産價額ノ割合ニ依ルヲ不適當トスル

トキハ收入金ノ割合又ハ所得若ハ純益ノ割合其ノ他適當

ナル方法ニ依リ之ヲ計算ス

第一項ニ於テ積立金トハ積立金其ノ他名義ノ何タルヲ問

ハズ帝都高速度交通營團ノ各事業年度ノ所得中其ノ留保

シタル金額ヲ謂フ

法人稅及臨時利得稅トシテ納付スベキ金額ハ前項ノ留保

シタル金額ニハ之ヲ算入セズ

第二條 帝都高速度交通營團法第四十一條第二項ノ資本金

額ニ對スル年百分ノ十ノ割合ノ金額ハ當該事業年度ノ月

數ヲ資本金額ニ乘ジ之ヲ十二分シタル金額ニ百分ノ十ヲ

乘ジテ之ヲ計算ス

前項ノ月數ハ曆ニ從ヒ之ヲ計算シ一月未滿ノ端數ヲ生ジ

タルトキハ之ヲ一月トス

第三條 帝都高速度交通營團法第四十一條ノ規定ニ依リ法

人稅又ハ營業稅ノ免除ヲ受ケントスルトキハ法人稅法第

十八條又ハ營業稅法第十五條ノ規定ニ依ル所得及資本又

ハ純益金額ノ申告ト同時ニ其ノ旨所轄稅務署ニ申請スベ

シ

前項ノ場合ニ於テハ帝都高速度交通營團法施行後新設又

ハ増設シタル設備ヲ以テ營ム地下高速度鐵道事業ヨリ生ズル所得又ハ純益ト其ノ他ノ所得又ハ純益トヲ區別シタル計算書ヲ添附スベシ

#### 第四條 陸上交通事業調整法第二條ノ命令ニ依リ帝都高速度

交通營業團ニ事業ノ讓渡ヲ爲シタル會社ガ其ノ讓渡ニ因リ取得シタル交通債券ヲ財産目錄ニ記載スル場合ニ於テ當該讓渡事業ノ讓渡直前ニ於ケル價額ニ相當スル價額ヲ附シ又ハ其ノ價額ヲ超エ當該交通債券ノ交付價額ニ滿タザル價額ヲ附シタルトキハ當該交通債券ノ交付價額ト當該記載價額トノ差額ハ讓渡ヲ爲シタル事業年度ニ於ケル法人稅法ニ依ル所得、營業稅法ニ依ル純益及臨時利得稅法ニ依ル利益ノ計算上之ヲ益金ニ算入セズ

前項ノ讓渡事業ノ讓渡直前ニ於ケル價額ハ直前事業年度末ニ於ケル財産目錄ニ記載セラレタル當該讓渡事業ニ屬スル財産ノ價額及當該事業年度ニ於テ取得シタル當該讓渡事業ニ屬スル財産ノ取得價格ノ合計額（帝都高速度交通營業團ニ承繼セシメタル債務ノ承繼價額ヲ讓渡價額ヨリ

控除シテ交通債券ノ交付ヲ受ケタルトキハ直前事業年度末ニ於ケル財産目錄ニ記載セラレタル當該債務ノ價額及當該事業年度ニ於テ負擔シタル當該債務ノ價額ノ合計額ヲ控除ス）ニ依ル

會社ガ事業ノ讓渡ニ因リ交通債券ノ外金錢ヲ取得シタルトキ又ハ讓渡ニ因リ取得シタル交通債券ノ一部ヲ當該事業年度ニ於テ處分シタルトキハ第一項ノ讓渡事業ノ讓渡直前ニ於ケル價額ハ讓渡價額（帝都高速度交通營業團ニ承繼セシメタル債務ノ承繼價額ヲ讓渡價額ヨリ控除シテ交通債券ノ交付ヲ受ケタルトキハ當該債務ノ承繼價額ヲ控除ス以下同ジ）ニ對スル讓渡ニ因リ取得シタル金錢及處分シタル交通債券ノ交付價額ノ合計額ヲ讓渡價額ヨリ控除シタル殘額ノ割合ヲ前項ノ規定ニ依ル金額ニ乘ジテ算出シタル金額ニ依ル

#### 附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

住宅營團、農地開發營團及帝都高速度交通營團登記  
取扱手續

(昭和十六年四月十五日  
司法省令第三一號)

昭和十六年五月三日  
司法省令第三九號

昭和十六年六月十六日  
司法省令第六三號

改正

第一條 住宅營團登記簿ハ附録第一號様式ニ依リ、農地開

發營團登記簿ハ附録第一號ノ二様式ニ依リ、帝都高速度

交通營團登記簿ハ附録第一號ノ三様式ニ依リ地方裁判所

長ニ於テ各之ヲ調製スベシ

第二條 受附帳ハ附録第二號様式ニ依リ毎年之ヲ調製スベ

シ

第三條 行政區畫又ハ土地ノ名稱ノ變更アリタルトキハ登

記官吏ハ登記用紙中變更欄ニ新舊ノ名稱及變更アリタル

旨ヲ記載シ之ニ捺印スベシ

第四條 住宅營團法第十三條ノ代理人ニ關スル登記ハ登記

用紙中豫備欄ニ之ヲ爲スベシ

第四條ノ二 帝都高速度交通營團法施行令第二十六條ノ規

定ニ依ル社債ノ登記ハ登記用紙中變更欄ニ之ヲ爲スベシ

第五條 商業登記取扱手續第十條乃至第二十三條、第二十

四條第一項、第二十五條乃至第三十六條、第三十八條乃

至第四十七條、第六十五條第一項、第七十條、第七十二

條、第七十九條、第八十四條第一項、第一百六條及第一百八

條ノ規定ハ住宅營團、農地開發營團及帝都高速度交通營

團ノ登記ニ之ヲ準用ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附錄第一號

住宅營團登記簿

區裁判所

紙數表紙ヲ除キ  
枚

地方裁判所長

附 錄

登記簿													
一十		十	九	八			五	四	三	二	一	登記ノ年月日 及登記官印	
ノ住宅債券ノ利率		各住宅債券ノ金額	住宅債券ノ總額	監事ノ氏名及住所			本拂込額	資本金額	目的	事務所	一名稱	第一欄ヨリ 第八欄マデ 年 月 日 登記 第九欄ヨリ 第十三欄マデ 年 月 日 登記	
備 録				三十	二十	七					六		
				住宅債券ノ方價及期限	利息支拂ノ方法及期限	理事長、副理事長、理事ノ氏名及住所					法公告ノ方		
											丁		

備	豫	備	豫
備	豫	備	豫

丁

更	變	更	變
更	變	更	變

丁

(以下變更欄三十枚省略)





農地開發營團登記簿

區裁判所

紙數表紙ヲ除キ 枚

地方裁判所長

二十		一十		十		九		八		七		六	
農地開發 債券ノ利息	農地開發 債券ノ金額	各農地開發 債券ノ金額	農地開發 債券ノ總額	農地開發 債券ノ總額	農地開發 債券ノ總額	農地開發 債券ノ總額	農地開發 債券ノ總額	出資一口 ノ金額	資本金額	目的	事務所	名稱	登記ノ年月日 及登記官印
													第一欄ヨリ 第九欄マデ 年 月 日 登記 第十欄ヨリ 第十四欄マデ 年 月 日 登記
備 豫		四十		三十		三十		八		七		六	
		農地開發 債券ノ方法 及期限		利息支拂 ノ方法及 期限		利息支拂 ノ方法及 期限		事務所 長、理事 ノ氏名及 住所		理事長、 副理事		出資一口 ニ付拂込 タル金額	

備	豫	備	豫
備	豫	備	豫

丁

更	變	更	變
更	變	更	變

丁

(以下變更欄三十枚省略)

帝都高速度交通管團登記簿

區裁判所

紙數表紙ヲ除キ 枚

地方裁判所長

二十		一十	十	九		五	四	三	二	一	登記ノ年月日 及登記官印		番 號
ノ交通債券 ノ利率		各交通債券 ノ金額	ノ交通債券 ノ總額	名及住所 監事ノ氏		出資一口 ノ金額	資本金額	目 的	事務所	名 稱	第一欄ヨリ 第九欄マデ 年月日登記 第十欄ヨリ 第十四欄マデ 年月日登記		第 一 號
備 豫		四 十		三 十		八			七		六		
		交通債券 償還ノ方 法及期限		利息支拂 ノ方法及 期限		總裁、副 總裁、理 事ノ氏名 及住所			法 告 ノ 方		出資一口 ニ付拂込 額 ミル タ 金		
													二 六

丁

備 豫	備 豫
備 豫	備 豫
	丁

更 變	更 變
更 變	更 變
	丁

(以下變更欄三十枚省略)



事五装舗路道トルアフスア

事五装舗トルアフターオウ割乳青瀝

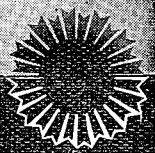
賣販理代トルアフターオウトルアフスア倉小

賣販造製グソイフルヒサア

**社 會 式 株 本 工 市 都**

地 番 二 日 丁 一 橋 泉 區 橋 泉 市 京 東

番 八 六 二 二 ( 5 6 ) 橋 泉 話 電



昭和十二年一月二十三日第三種郵便物認可  
 昭和十二年一月二十三日印刷局第五〇一號

# 日本セメント工業株式會社

東京丸の内二ノ八

電話丸内 1674



一般道路鋪裝工事請負  
 沥青乳劑製造販賣  
 各種アスファルト販賣

出張所 大阪・門司・京城  
 青森・札幌・金澤  
 五場 横濱・大阪